

## 活動報告

団体名	兵庫県立大学減災復興政策研究科災害支援チーム
活動名	令和3年8月豪雨災害被災地の佐賀県武雄市に対する支援活動
活動期間	2021/09/07~2021/11/28
活動の成果	<p>福祉サービスの提供が望ましいとこれまでも議題に上がっていた被災者は、介護認定の審査なども受け、今後サービスを導入していこうというところまで現地の介護支援事業所とで話が進んでいることが確認できた。福祉サービスがうまく活用できているか、引き続き経過観察を行うこととなった。また、自宅の復旧工事も進み、さらにフェーズが変わってきていることが確認できた。今後は新たな日常の獲得に向けた健康支援を行っていく。</p> <p>また、1週間~2週間ごとに行っていた武雄市保健師とおもやりボランティアセンターの看護支援チームの情報共有会議のメンバーとも今後の活動について話し合うことができた。フェーズの移行に伴い、会議の頻度を減らしつつも、継続した支援活動が行えるよう、情報共有を行っていく方針となった。</p> <p>久津具サロンでは、「このような機会がないと人と話す機会がないため、とてもうれしい」というお言葉をいただいた。今回のサロンで被災者の方のお話から、ニーズの掘り起こしができ、次回以降サロンで実施したいことについて考えることができた。サロン参加者と、支援者との教え合いこの会を検討したい。久津具地区の人々は、何度も被災したことで趣味やこれまでであった日常を諦めてしまっているという話から、支援者が何かを提供するだけではなく、被災者自身がやりたいことをできる機会を作りたいと考えた。その機会を通して、何かすることを諦めるのではなく、前向きに何か始めようと思えるきっかけになるように、今後も活動を続けていきたい。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>寄付者の皆様のたくさんの温かいご支援、ご協力により活動を行うことができました。</p> <p>全国で今年度も災害により各地で広域、且つ甚大な被害が発生しています。今回支援に入らせていただいている武雄市では、2年のうちに2度の災害に襲われ、地域を離れる人も少なくありません。また、度々襲われる災害に、どうすればいいのか先が見えなくなっている被災者の方々も少なくありません。今回サロンに参加して、被災地域の住民の方々があきらめることなく新たな日常を手に入れられるような中長期的な支援が必要であると感じています。私たちの活動が一人でも多くの被災した住民の方のお力になることができれば幸いです。</p> <p>私たちの活動継続に当たり、ご協力いただきました寄付者の皆様にこの場を借りて御礼を申し上げます。貴重な寄附を頂いた皆様、今後も精一杯の活動に取り組んでまいりますので、引き続き温かいご支援、ご協力のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>

(活動のようす)

